



福岡市議会議員 (西区)

た なか 崇史

田中たかし

議会通信 vol.21 (2024年 新春号)

12月定例会 一般質問

障がい者も地域でいきいきと! 重症心身障がい者、強度行動障害のある方の目線で

写真

今宿青木獅子舞保存会 <福岡市指定無形民俗文化財>

事務所のご近所、今宿青木地区に古くから伝わる演劇的要素の強い獅子舞です。子どもの演者もあり、後継者育成にも力を入れています。



令和6年も 全力投球!

新年明けましておめでとうございます。旧年中は大変多くの方に支えていただき、二期目の当選を果たすとともに、当選後も充実した活動ができました。改めて御礼申し上げます。

コロナが5類へ移行し、福岡市にも賑わいが戻ってきました。天神や博多は観光客もずいぶん多くなり、また、新しいホテルや最先端のビルがどんどん建設され見違えるようになっていきます。

しかし、不安定な世界情勢と物価高が確実に市民生活を圧迫してきています。生活が苦しい人はいつまでも苦しい。そんな閉塞感に覆われているのも福岡市の現実です。そんなときに政治家は何ができるか。それを問い続けながら日々送ってきましたが、やはりやるべきことは一つ。地域を歩き、皆さんのお困りごと、不安なことに真摯に耳を傾け行政に届ける。これに尽きると確信しています。

福岡市は、令和7年に市政運営の基本となる「福岡市基本計画」が改訂されることから、令和6年は策定作業が本格化します。福岡市の将来像を決定する大事な計画ですが、私もその中身を審議する総合計画審議会委員を拝命しています。皆さんの声がダイレクトに福岡市基本計画に反映されるよう、その使命を果たしていく所存です。

本年もどうか皆様のご指導ご鞭撻を宜しくお願いいたします。

田中たかし

Topics 西区選出市議会議員団 要望書を市長へ提出!

西区はその地理的要因から行政課題も複雑。インフラ整備など他区に後れをとっている面も様々。そのため過去30年以上西区選出議員団という括りで市長へ事業要望を行ってきました。市民の切実な声が会派・党派のエゴでかき消されてはいけません。そういった認識から、年数回全員が一堂に会し、会派・党派を超えて西区の未来のために議論を重ね要望書を作成しています。

主な要望(抜粋)

→ 九大関連

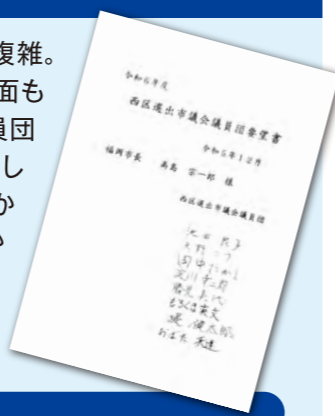
- 九州大学との連携・協力による地域社会の振興
 - ①九州大学の持つ知的資源の活用
 - ②市民と大学との交流の推進
 - ③伊都キャンパス周辺等のまちづくり
- 九大学研都市駅を中心としたバス交通の増便や運賃の負担軽減
- JR筑肥線停止時の対処などのバス会社への要望
- 桑原地区のまちづくり、周船寺駅南土地区画整理事業について、地元の見解を踏まえた手厚い支援

→ 道路関連

- 福岡前原道路から学園通線に連絡する、天神方面へのONランプ、周船寺方面へのOFFランプの徳永交差点付近での早期整備
- 市道福重石丸線(新室見～西部市場跡地間)の早期拡幅整備
- 今津橋の早期の架け替え
- 市道千代今宿線の交差点改良などの渋滞対策、自転車や歩行者の安全通行機能の拡充

→ 河川関係

- 室見川の氾濫防止のための適切な維持管理
- 周船寺川などの早期全面改修
- 他、地域関連や学校関連、まちづくり関連など多数要望



2023年最後の定例会が12月19日に閉会しました。今回も田中たかしは一般質問で登壇。「障がい者でも住みやすい福岡市」実現のための支援策の充実を求めました。

質問の詳細など、市政に関する雑感をブログに掲載! 田中たかし 🔍 検索 <https://tanaka-t.jp/category/blog/>



健常者には些細なことも、 重症心身障がい者には大きな障壁 市主導でハード改良の推進を!

ユニバーサルシート設置トイレについて

どんな建物に設置されているの?

福岡市のユニバーサルシート設置トイレは市内80箇所。平成16年の福岡市福祉のまちづくり条例施行規則改正時、10,000㎡以上の建築物に設置義務。

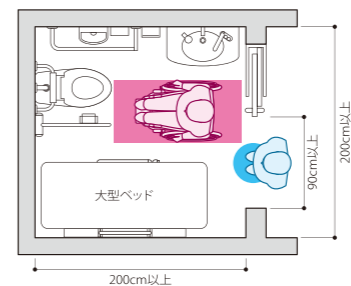
10,000㎡の根拠に合理性がない。設置基準の見直しと、条例施行以前に建てられた建物についても設置の要請を!



ユニバーサルシートを広げたら狭い

広さ要件は、間口奥行き200cmの確保が基準。

200cmでは広さが確保できない。介助者が身動き取れないという意見もあるので(下図参照)、基準の見直しも含めて、柔軟な対応を!



ピクトグラムが統一されていない



福岡市では、「福岡市施設整備マニュアル」の中で、ピクトグラムの表示例としてJISのピクトグラムを掲載しているが、施設によっては独自のピクトグラムを使用している。

ピクトグラムが違っていると利用者は混乱する。市で推奨する規格に変更してもらえるよう、民間事業者を含め働きかけを!

バリアフリーマップについて

バリアフリーマップを改良してほしい

福岡市のバリアフリーマップは「ユニバーサルシート」で検索しても該当0となる。「トイレ内介護ベッド」と検索しないとヒットしない。また、設置施設のURLは掲載されているものの、その施設内のどこにあるのかまでは確認できないところもある。

ユニバーサルシートは「大型ベッド」「介助用ベッド」「収納式多目的シート」など呼称が様々。利用者が混乱しないよう呼称の統一を進めると同時に、より利便性の高いバリアフリーマップになるよう改良更新を!



強度行動障がいのある方は 「福祉のはざま」に取り残されている 市は本腰を入れて、当事者と家族へ最大限の支援を!

人材不足について

介護施設はあっても支援できる人材が不足している

人材不足のため「受入れ拒否」の事案が多発している。国も認めており、専門人材の育成が急務としている。

強度行動障がいのある方を支援する人材には専門的な知識も必要となることから、研修の充実など、各介護施設で人材が確保できるよう積極的な取り組みを!

金銭的な負担について

強度行動障がいのある方の住まいには行動問題に沿った改修が必要

身体障がい者の移動の円滑化のためのバリアフリー工事については住宅改造助成がある。しかし、強度行動障がいは知的障害に分類されるため、リフォームのための補助金助成がない。

ただでさえ借りられる家が限定されるのに、住宅改修費用まで自己負担では家族も限界。当事者やその家族の疲弊感を汲み取り、福岡市独自の補助事業を!

重度訪問介護サービスについて

住んでいる地域で受けられるサービスに差がある

福岡市で家が借りられないことから、近隣都市で家を借りた場合、住民票が福岡市でも福岡市のサービスが受けられない。そこには障害者総合支援法の壁が。

やむなく近隣自治体に移住せざるを得ない事情を考慮し、福岡市以外の自治体でも住民票が福岡市内であれば、福岡市の重度訪問介護サービスを受けられるよう柔軟な対応を!

田中たかしのプロフィール

福大大濠高校卒業	福岡市議会議員(2期目)
拓殖大学卒業	福岡市民クラブ政調会長
法政大学大学院修了	総務財政委員会委員
国会議員政策秘書 等	議会運営委員会委員 他

田中たかし市政相談所

住所 〒819-0378 福岡市西区徳永北14-27 1F

Tel・Fax 092-407-6236

E-mail tanakatakashi.office@gmail.com



Facebook



ホームページ